

「北海道キャリア教育サミット」が開催されました

平成 29 年 10 月 31 日（火）、札幌市のホテルライフオーソ札幌において、小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業「キャリア教育サミット」が開催されました。全道 14 管内の各地域指定校から小学生 18 名、中学生 12 名、高校生 32 名を含む、計 111 名が一堂に会し、それぞれの地域の 3 年間の学習成果を報告したほか、報告についての意見交換、地域を PR するブースの見学等を行いました。

渡島管内からは、福島商業高校 3 年の梅澤葵君、福島中学校の對馬愛香さんが参加し、町内小学校が作成したビデオレター（福島小：黒米について、吉岡小：相撲について）を上映した後、對馬さんから中学校の「地域探訪」「職場体験」について、最後に梅澤君から、「福島町カントリーフェスティバル」、「子どものことを考える座談会」等について発表したほか、横綱の里の暖簾や福島町のキャラクター『イカ綱』をあしらったブースにて、福島町のアピールを行いました。



【福島町の報告の様子】

参加した生徒の感想

北海道福島商業高等学校 梅澤 葵 君

私たちは、福島町の 3 年間の取組の成果について発表をしました。するめえ帽子を被り、法被を着ました。恥ずかしかったのですが、福島町の宣伝には十分な効果があり、発表後のブースには多くの人に来ていただきました。他管内の生徒が帽子に触れ、発表内容についての質問をしてくれたのが嬉しかったです。寿都町をはじめ他の管内の発表を聞いて、福島町でも実施したい企画や事業があったので、今後取り組んでいければいいと思いました。自分自身にとっても、大変良い経験ができたと思います。ありがとうございました。

福島町立福島中学校 對馬 愛香さん

私は、渡島の代表として参加し、各管内がどのような活動をしているのか等の意見を交流しました。大勢の前で発表するのは慣れていると思っていましたが、いざ前に立ってみると、聞いている人の真剣な顔が見え、思わず緊張してしまいました。その後の情報交換では、高校生の梅澤さんがスラスラとリードしてくれたおかげで、その緊張もほぐれ、うまく福島町について伝えることができました。今回の経験を通して、コミュニケーション能力の大切さ、福島町の魅力など、改めて多くのことを学ぶことができました。

福島商業高校が「はこだて学生政策アイデアコンテスト」に出場

～ 2 年連続高校生以下の部優秀作品アイデア賞受賞～

平成 29 年 11 月 23 日（木）、北海道教育大学函館校において、「はこだて学生政策アイデアコンテスト 2017」が開催され、書類審査を通過した福島商業高校「課題研究ふるさと班」が参加しました。プレゼンテーションでは、昨年度の政策を実現した上で、福島町についての調査や分析に基づく福島の文化財をブランド化、「体験型ちよこっと移住」を進めることにより地域を活性化する政策を提案し、昨年度に続き、高校生以下の部の最高賞を受賞しました。



【プレゼンテーションの様子】